

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 26 日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所 名古屋市港区明正2丁目281	
氏 名 株式会社 ノゼキ	
代表取締役 関谷良孝	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 052-383-6289	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 ノゼキ
事業場の所在地	名古屋市港区明正2丁目400-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高： 1903百万円
③ 従業員数	80人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事及び上下水道工事 ①がれき類（アスファルト塊・コンクリート塊）再生処理業者に委託して再生合材・再生砕石として再資源化②廃プラスチック類再生処理業者に委託して破碎（チップ）にして再資源化③木くず再生処理業者に委託して破碎（チップ）にして再資源化④混合物再生処理業者に委託して分別して再資源化及び管理埋立⑤汚泥中間処理業者に委託して脱水後埋立処分

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

ISO14001・ISO9001の管理体制

経営層



内部監査員（定期確認・監査）



管理責任者（廃棄物処理の承認・経営層に報告）



担当課長（廃棄物処理状況の管理・監視）



各現場責任者（現場毎の廃棄物集計・分別確認・処理施設立入調査）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・名古屋市仕様書に基づく工事施工規格の厳守 ・分別処分		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・各現場での工事手順・工法の改善・検討。 ・施工不良による再掘削の撲滅。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、廃プラスチック類→積込後の目視確認。 ・種類ごとに分別し、できる限り混合廃棄物の排出を抑制。 ・廃棄物の分別について作業員に指導。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記取組みの継続実施。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	別紙1のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 処理委託業者の施設の現地確認を定期的実施する。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 前述の取組みの継続実施。 ・ できる限り優良認定処理業者への委託。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず				
	名称(任意の名称を記入してください)	アスファルトがら	コンクリートがら	建設汚泥			陶磁器くず				
①	排出量(t)	7883	5722	108	103	22	106				
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0				
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑩	処理委託した全量(t)	7883	5722	108	103	22	106				
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	7883	5722	108	103	22	106				
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				

別紙2

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず				
	名称(任意の名称を記入してください)	アスファルトがら	コンクリートがら	建設汚泥			陶磁器くず				
①	排出量(t)	7500	5500	100	100	20	100				
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0				
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑩	処理委託する全量(t)	7500	5500	100	100	20	100				
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	7500	5500	100	100	20	100				
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0				